

ご自由にお持ち帰りください

さくらだより



さくら病院

SAKURA

日本医療機能評価機構認定



健・康・通・信

さくら病院の理念

愛の心と確かな医療技術を以って社会に奉仕する。

Vol. 61



副院長
江頭 省吾

今年の夏は例年と比べことのほか厳しく、当院でも熱中症で入院となった患者が多く見られました。暑かった夏が過ぎ、ようやく過ごしやすくなったかと思う間もなく気温が下がりましたが、なんでも12月は暖かいとの予報です。最近は季節の変化が極端になった気がしますが、基本的には猛暑・暖冬で地球温暖化の影響ではないかと思っています。

さて、今年の11月中旬に当院にとって4度目の病院機能評価の審査を受けました。約半年前にプロジェクトを立ち上げ問題点を洗い出し、各部署でガイドラインを見ながら書類を整え、資料作りや改善に取り組んできました。審査には医師・事務・看護の代表である三名がお見えになり、書類に目を通すとともに各部署を巡回し、それぞれ気になることを的確に指摘され質問されました。二日間の審査を受け講評の際、巡視時の印象とは違い丁寧かつ好意的な内容が多くみられました。これは、病院機能評価が病院のランク付けやふり落しだけが目的ではなく、医療の質を向上させるための指導であることを示しており、有益なものであると感じました。また一方では、指摘された事柄は自ら気づいた問題点や改善点とほぼ同じ内容であり、このことは、当院が十数年にわたり外部評価を受けるうちに医療の質向上に対する意識も同時に培われてきた結果だと感じました。

今後、当院でも審査にて指摘を受けた事柄について改善に取り組み、更に質の高い病院へと成長するべく皆で努力を継続して行きたいと思っています。

新任ごあいさつ



医師 奥津 翔太

10月から勤務しております、福岡大学病院総合診療部の奥津翔太と申します。

福岡大学病院で2年間の卒後臨床研修を終了後、総合診療部へ入局しております。入局後日本病院総合診療医学会、日本プライマリケア学会、日本内科学会、日本感染症学会に所属後2年間は総合診療部で勤務し、その後半年を福岡大学筑紫病院の小児科で勤務し、現在に至ります。さくら病院では、一般内科外来での一次予防を中心としたトータルケア、訪問診療、入院患者様の治療および治療後のケアを学びたいと思います。不慣れでご迷惑をおかけすることになることもあると思いますが、よろしくお願いします。

2018/
10月
23日(火)

いきいき公開セミナー

テーマ:「今すぐできる『認知症予防』」

医局 米良 英和 先生

平成30年10月23日に、今すぐできる「認知症予防」というテーマでセミナーを開催しました。講師は神経内科の米良英和先生でした。男性10名 女性22名の参加がありました。

認知症の症状について詳しく話がありました。

認知症の症状には、

- ①記憶障害: 出来事をすっかり忘れて、ヒントがあっても思い出せない。昔の事は覚えている。
 - ②見当識障害: 自分の置かれた状況が分からない。時間・場所・名前が分からない。
 - ③実行機能障害: 今までできていたことが出来なくなる。
 - ④その他: 判断力、理解力、注意力が低下する。会話の辻褄が合わない。言葉数が少なくなる。
- などの症状があります。

認知症の発症を遅らせるためには、日頃から気を付けなくてはなりません。認知症予防の4つの柱として、運動、栄養、生活習慣、知的活動があります。運動すると、なんと半分も認知症になりにくいと言われています。認知症になりにくい栄養には、緑黄色野菜、野菜ジュース(ビタミンB)、果物、魚介類特に青魚、ウコン(ターメリック)大豆類(イソフラボン)、緑茶(カテキン)、ココナッツオイル、クルミなどが挙げられます。肥満、喫煙、糖尿病の方は認知症になりやすいと言われています。日頃から気を付けて、認知症の予防をしましょう。また、認知症かなと感じたら、神経内科、精神科、老年科、脳神経外科のある病院を受診しましょう。



住宅型有料老人ホーム



「アドバンスケア長尾」開設

平成30年12月15日に医療法人社団江頭会さくら病院がお届けします「アドバンスケア長尾」が開設致します。アドバンスケア長尾は要介護4以上の方を対象とした住宅型有料老人ホームです。医療依存度の高い方もお受けできるように、全室吸引設備と眠りスキャンを設置しています。眠りスキャンとはベッドマットの下にセンサーを設置することで、モニターにて心拍数と呼吸が一括管理でき、入眠・覚醒・離床が一目でわかる優れものです。又、浴室には天井走行のリフト、居室には移乗支援リフトを導入し介護職員の腰痛対策にも取り組んでいます。入居だけでなく短期間のご利用も可能ですので地域の医療機関、施設との連携にも力を入れていきますのでよろしくお願いします。

施設長 竹中 維奉子



秋のお月見会



お月見会も今年で3回目になりました。昨年に引き続き今年もたくさんの方に参加して頂きました。ボランティアの方にもご協力頂き三線や舞踏の催しを行いました。また当院のゴスペルサークルメンバーによる歌ではリズムに合わせて一緒に懐かしの歌を歌いました。患者さん・ご家族・そして私たちスタッフも三線を聴きながら、歌を歌いながら各々が思いをはせる事が出来たのではないかと思います。入院生活では治療やリハビリなどで三線や音楽を聴いたりする機会も少ないかと思い企画させて頂きました。参加者の方からは「楽しかったです。皆さん、上手ですね～良かったです。」という言葉頂きました。その言葉でスタッフは「今年もイベント開催して良かった。また来年も頑張ろう」と思える事ができました。これからもスタッフ一同、喜んで頂けるように努力していききたいと思います。



部署紹介

薬局

現在薬局では、薬剤師6名、事務員1名、調剤助手1名の計8名が在籍しています。

薬局の業務は調剤、製剤、中心静脈栄養の無菌調整、医薬品の在庫管理、DⅠ業務、服薬指導業務、病棟業務、TDM分析など多岐にわたります。診療報酬上、病棟業務とDⅠ担当者は専任が義務付けられていますので、病棟4名(各病棟1名)、DⅠ担当1名、調剤担当1名の割り振りで、すべての業務をみんなでフォローしあいながら行っています。

薬剤師の業務はあまり外からは見えませんが、処方の確認、肝機能、腎機能を考慮した投与量の妥当性、相互作用のチェック、効果・副作用の確認など、薬剤による不利益が患者様に及ばないように、日々努めています。

特に病棟業務は当院では2017年2月から開始した新しい業務で、当初薬剤師が病棟にいることに戸惑いが見られましたが、最近うまく利用していただき、(おそらく双方にとって)より効率的により安全に業務ができるようになったと思います。

これからもさくら病院の薬剤師として患者様や医師、その他のスタッフから信頼していただけるよう取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。



感染広報だより

いよいよインフルエンザ・ノロウイルスの流行の季節になりました。
インフルエンザ・ノロウイルスの特徴、注意するポイントについてまとめました。

インフルエンザとは？

インフルエンザは、インフルエンザウイルスによって引き起こされる呼吸器感染症です。

風邪に比べて症状が重く、乳幼児や高齢者では重症化することもあります。

受診・検査はいつ受ければいいの？

迅速診断キットによるインフルエンザの検査を受けるには、**発症後12時間から48時間前後が最適**と考えられています。(インフルエンザウイルスの量がある一定以上に達していないと陽性と判定されにくいいため) 抗インフルエンザ薬は、**インフルエンザに罹患後48時間以内**に内服しないと効果が期待できません。

インフルエンザウイルスに感染すると、急な発熱や、筋肉痛などの重い全身症状が出るため動きづらいかもしれませんが、医療機関は必ず早期に受診するようにしましょう。



インフルエンザの予防法

インフルエンザ予防の基本は、**手洗い・うがい**です!!

正しい手洗い・うがいのしかたを身につけましょう。(マスクの着用も効果的です)

ノロウイルスとは？

ノロウイルスは汚染された2枚貝の生食、汚染された手指や環境面を介して感染します。

特に冬季に多いですが、1年を通して発生し、幅広い年齢層に胃腸炎をおこします。

ノロウイルスは感染力が非常に強いため、10〜100個という少量で発症します。

症状が消失後も3〜7日間ほどは患者便中にウイルスが排出されるため、二次感染にも注意が必要です。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎には特異的な治療法がないため、感染発生を予防することが大切です。

感染を予防するにはどうしたらいいの？

石けんと流水による手洗いが有効です!!

ノロウイルス対策では、特に、トイレ後、汚物処理やオムツ交換後、嘔吐物処理後、食事前などに手洗いをすることが重要です。

感染したら消毒はどうすればいいの？

・アルコール消毒は効果が期待できません。

・調理器具や雑巾などの消毒は、塩素系漂白剤を使用します。定期的に煮沸消毒するとより安全です。

・吐物の処理は、ペーパータオルなどを使うようにします。吐物や便が付いた衣類などは、塩素系漂白剤で浸け置き洗いした後、他の衣類と分けて洗濯します。



さくらカフェ



さくらユニットでは、毎月第3木曜日に
さくらカフェを開いています。

10月は、シャンソンライブを行いました。

ボランティアのみなさん、患者さん・ご
家族と一緒に楽しい時間を過ごしました。



こんにちは!

地域医療連携室です。 どうぞお気軽にご相談ください。

医療連携相談室では、患者様・ご家族からの様々なご相談を承っています。

例えば、当院への入院のご相談・退院後の生活に対する不安・介護サービス等社会資源のご紹介・経済的な問題についてなど、一緒に考えさせていただいています。

また、患者様へ適切な医療が提供できるよう、地域の診療所や病院・施設・在宅サービス事業所等との連携に努めています。

どうぞお気軽にお声かけください。

地域医療連携室

TEL 092-864-1245

FAX 092-864-1213

受付 平日：午前9:00～午後5:00
土曜日：午前9:00～午後12:00

担当者 室長 江頭省吾
副室長 吉瀬
看護師 井上
医療ソーシャルワーカー
松山・橋迫・足立
事務 谷山



外来診療表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	第1診療室	江頭 省吾 内科/循環器内科	江頭 芳樹 総合内科	江頭 芳樹 総合内科	天野 角哉 内科/消化器内科	江頭 省吾 内科/循環器内科	
	第2診療室	奥津 翔太 総合内科	村上 修二 内科/心療内科	岩崎 敬雄 リハビリテーション科	江頭 啓介 総合内科	江頭 啓介 総合内科	江頭 啓介 総合内科
	第3診療室	村上 祐一 内科/消化器内科	王寺 恒治 内科/消化器内科	秋満 俊介 内科/循環器内科	池田 貴登 呼吸器内科	王寺 恒治 内科/消化器内科	井手 均 糖尿病内科
	第5診療室	田中 啓二 健康診断	矢野 祐依子 循環器内科	天野 角哉 内科/消化器内科	田中 啓二 健康診断	田邊 桃香 内科	米良 英和 神経内科
	第6診療室	楠原 浩之 内科/消化器内科	西本 好徳 健康診断		堀端 智子 内科/消化器内科		西本 好徳 健康診断
午後	第1診療室	田邊 桃香 内科	江頭 省吾 内科/循環器内科	工並 直子 腫瘍血液内科	奥津 翔太 総合内科	米良 英和 神経内科	
	第2診療室	村上 修二 内科/心療内科	河野 博之 心臓外科	米良 英和 神経内科	江頭 啓介 総合内科	江頭 啓介 総合内科	
	第3診療室	秋満 俊介 内科/循環器内科	杉本 薫 糖尿病内科	王寺 恒治 内科/消化器内科	大城 彩香 糖尿病内科	秋満 俊介 内科/循環器内科	
	第5診療室	田中 啓二 健康診断		堀端 智子 内科/消化器内科	村上 祐一 内科/消化器内科	中園 智美 乙成 淳 心療内科	
	第6診療室			田中 啓二 健康診断	楠原 浩之 内科/緩和ケア内科	佐々木 秀法 腫瘍血液内科	
専門(予約制)外来	午前		村上 心療内科 矢野 循環器内科	岩崎 リハビリ外来	池田 貴登 呼吸器内科		井手 糖尿病内科 米良 神経内科
	午後	川添 神経内科 村上 心療内科	杉本 糖尿病内科 河野 心臓外科	工並 腫瘍血液内科 米良 神経内科	大城 糖尿病内科 楠原 緩和ケア外来	佐々木 腫瘍血液内科 安部 脳神経外科	

病院までの交通アクセス

- 地下鉄七隈線/福大前下車1番出口より徒歩10分
- 都市高速/堤ランプより車で3分
- 車/天神より約30分(本館地下に専用駐車場があります)
- バス/西鉄バス(さくら病院前バス停下車)の場合
 - 天神方面より：協和ビル前のりば片江(当)行………13番
 - 西鉄大橋駅より：………外環700番
- 西鉄バス(西片江一丁目バス停下車)の場合
 - 天神方面より：警固神社・三越前のりば片江(当)行………114番
 - 協和ビル前のりば片江(当)行………12・140番
 - 西新・飯倉方面(脇山口)より：………95番
 - 博多駅方面より：博多駅前のりば片江(当)行………16番
 - 博多バスターミナル片江(当)行………12・114番
 - 松原・片江方面より：………6・12・16・95・114・140番



医療法人社団 江頭会 さくら病院
在宅医療介護センターさくら
社会福祉法人 桜花会
ライフケア大手門

サービス付き高齢者向け住宅
ホスピコート長尾
社会福祉法人 桜花会
特別養護老人ホーム ライフケアしかた

住宅型有料老人ホーム
アドバンスケア長尾
社会福祉法人 桜花会
ライフケア柏原

〒814-0143 福岡市城南区南片江6丁目2-32 TEL092-864-1212 FAX092-865-4570
E-mail:info@sakurahp.or.jp ホームページ:http://www.sakurahp.or.jp/

直通TEL
事務所 092-801-7386 1内科 092-872-5611
ユニット 092-872-5615 2内科 092-872-5612
3内科 092-872-5613